

ぶっとびギャグで、鮮烈デビュー!

玉城町出身のマンガ家

まあやん

進学・就職を経て、一時は夢を諦めながらも、

挑戦を繰り返し、デビューを果たしたまあやんさん。

プロのマンガ家となるまでの軌跡を追った。

「後悔をしたくない」と
夢への再挑戦を決意

「おもしろい絵を書いて、みんなを楽しく笑わせて明るくさせる」。小学校の卒業文集に記した目標が、現実になった。

マーガレット第37回まんがゼミナール+(2020年1月期)で金賞を受賞し、同年6月発売の『ザマーガレット』でマンガ家デビューを果たしたのは、玉城町出身のまあやんさんだ。

デビュー作「全力警察24時!」は、新人警察官の相馬智と、同じ

一線で活躍しているみなさん、誰にもマンガ家になれる保証なんてなかったんだと気づかせてくれました。『年を取ってからは、挑戦しなかったことで後悔したくない。本気でやり切ろう』と覚悟を決めたんです」とまあやんさん。27歳で気持ちを新たにマンガと向き合った。

「好き」を詰め込み
読者が楽しむ作品を

一度は他誌で担当がついたものの、希望とは違う設定の提案が多く、なかなか上手いかなかった。まあやんさんは、「とにかく半裸男子が描きたかったんです」と笑



4.「全力警察24時!」は、新人警察官の相馬智と、先輩の全力護巡査長を中心としたギャグマンガ。全力巡査長の登場はインパクト強 5.ストーリーの要所には読者の心をつつセラフが入り、突き抜けた笑いだけではない読み応えもある



5



2020年6月発売の『ザマーガレット』に掲載されたデビュー作1ページ目。プロとしてのまあやんさんのスタート地点といえる

交番で働く全力護巡査長が中心となり、まちのさまざまな事件に対応するギャグ作品。常に半裸という全力巡査長のキャラクターが強烈で、1ページ目から読者の目を誌面に釘付けにする。

まあやんさんがマンガを描き始めたのは、小学生のとき。友達の間で4コママンガを描くのが流行った。中学生でマンガ誌への投稿を開始するも、なかなかいい評価が得られず、高校受験を機にマンガから遠ざかったという。

高校時代も何度か投稿するが、中学時代の成績を超えられずに挫

う。

苦悩する中で訪れたのが、『マーガレット』の出張編集部だ。出張編集部とは、自作を持ち込んで相談ができるブース。多様なイベントに出展しており、2018年は名古屋に出張する機会があった。そこでのお会いが転機となった。「対応してくれた担当さんが、私が描きたいものを理解してくれたんです。何度もアドバイスをいただき、デビューまで支えてもらいました」

『全力警察24時!』は、今年2月から『マーガレット』で連載中。月2回発行で、2週間に1度のペースで締め切りがくる。まあやん

折。「テレビに関わる仕事があった」と、千葉にあるメディア系の大学に入学した。ドラマづくりに打ち込んでいたが、就職活動の時期になりマンガへの思いが再燃する。

再びマンガ制作を始め、テレビ局の採用試験を受ける傍ら、東京の出版社へ持ち込みをするようになる。テレビ局での採用は得られず、家族の希望もあり地元での就職を決めた。大学卒業後はビジネスホテルに勤務。休日に描いたマンガを手に、東京へ向かう日々が続いた。

さんにとつて、時間に制約がある中でネームづくりは初めての経験。「ツッコみに苦労しています。面白いのはもちろんですが、キツい言葉は避けなければいけません。その塩梅が難しいです」

セリフに使用したい単語を思い付いたときは、「もつと面白い言葉はないか」と類義語を検索したり、SNSを見たり、ネタ探しにも余念がない。

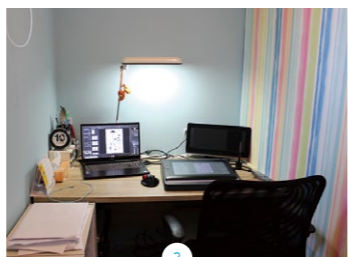
忙しい日々の息抜きは、ジャンプの応援。作業スペースにはグッズやポスターが並び、「好き」が満ちた場所でマンガづくりをしている様子が伝わってくる。まあやんさんは、「絵を描くこと自体

「やる気に波があったんです」と、まあやんさんは当時は振り返る。持ち込みをする中で、「本気でプロをめざすなら、ずっとマンガのことを考えていないと駄目」と厳しい指摘も受けた。別の人がデビューしていくのを見て、「どうして自分はデビューできないのか」と悔しい思いをすることも多かった。

夢を諦めかけたときに出会ったのが、デビューしたものの、なかなか上手いかならないマンガ家が主人公の『どうにもこうにも』(著・日下直子)という作品だった。「第

はそんなに好きじゃないんです。でも、イケメンとお笑いマンガが好きで、それを表現するために頑張っています」と語る。

次の目標は、『マーガレット』の表紙制作とコミック化だ。マンガ誌で連載すればいざれコミックになると考えている読者は多い。しかし、実際には確約されたものではないという。「連載時の人気が重要だ。ギャグなので他のマンガの箸休めに楽しんでもらって、面白ければ、アンケートなどで応援してくれると嬉しい」とまあやんさん。デビュー直後ながら、冷静に次のステップを見据えている。



3



2



1

1.マンガ制作の様子。全力巡査長の細いながらも引き締まった筋肉はまあやんさんのこだわり 2.ネームもデジタルで制作。写真は『マーガレット』での連載1話のネーム 3.作業場はキッチン横の小さなスペース。壁紙の柄など、まあやんさんの「好き」が詰まっている

profile

まあやんさん

玉城町出身。小学生のときからマンガを描き始め、受験や就職で一時期マンガ生活を離れながらも、投稿・持ち込みを続けてきた。中学時代はM-1グランプリの予選に挑戦したほどの漫才好き。ジャンルも大好きで、イケメンが登場するギャグマンガにはまあやんさんの「好き」が詰まっている。2020年、33歳で第37回まんがゼミナール+金賞受賞。デビュー作となる「全力警察24時!」は現在「マーガレット」で連載中

まあやんさんのSNSをチェック!

